自動車整備業における危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例

【リフトを使用した作業】

工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
リフト	主作業者がジャッキ・ポイントを直すために手を入れた際、他の作業者がリフトを操作
(はさまれ・巻き込まれ)	したため、手が挟まれ、指を骨折する。
リフト	車両を片上げした際、車両がリフト受台からすべり、落下する車両を手で押さえようと
(はさまれ・巻き込まれ)	して、車両に挟まれ死亡する。
リフト (飛来・落下)	作業者が車両をリフトアップする時に、車両のリフトアップポイントを誤ってセットしたため安定が無くなり車両が落下し、車両の下敷きになり死亡する。
リフト	車両を上げて下回り作業中、ワイヤーの交換を怠っていたため、ワイヤーが切れてリフトが
(飛来・落下)	落下し、従動側 1ヶ所の安全装置が働かなかったため作業者は頭部・腰部を打撲する。
リフト	トラックをリフトにセットし上昇させキャビンを開いたため、前後バランスが崩れ車両
(飛来・落下)	が前に落下し、車両前面にいる作業者が車両に挟まれ全身を強打する。
リフト	落下防止用の安全装置が故障のまま使用し、ワイヤーロープが切れて車両が落下し、車
(飛来・落下)	両下にいる作業者が死亡する。
リフト	作業者がリフト下降操作をしているときによそ見をして、リフトに足を挟まれ足を骨折
(はさまれ・巻き込まれ)	する。

【ジャッキを使用した作業】

ガレージジャッキ	ジャッキ・アップして後輪ブレーキ調整中、ジャッキの受金から車体が外れ、落下して
(飛来・落下)	頭を挟まれ死亡する。

【タイヤ交換・空気充てん作業】

エアインフレータ (破 裂)	軽トラックのパンクしたチューブを修理し、タイヤに空気を充てん中にタイヤが破裂し、タイヤホイールが飛び作業者の頭部に激突して骨折する。
タイヤ・バランサー	タイヤ交換後のバランス調整時、取り付けたウエイトが飛び作業者の顔面に当たり裂傷
(飛来・落下)	を負う。

【整備作業】

車体	共同作業で灯火の点検中、運転席の作業者がエンジンを始動したところ、車が突然後退
(はさまれ・巻き込まれ)	し、後部にいた作業者が壁側との間に挟まれ死亡する。
エンジン(ファン・ベルト)	エンジンの調子を見ながら整備をしていたとき、ファン・ベルトに左手人差し指が巻込
(はさまれ・巻き込まれ)	まれ、切断する。
ハンマー	トラックの修理作業中、荷台部分のボルト穴がずれていたので穴の位置を合わせるため、
(動作の反動・無理な動作)	ハンマーでたたいて調整中にハンマーが跳ね返り、歯を負傷する。
エンジンリフター (飛来・落下)	エンジン・パネル他の着脱時、リフターを使用しなかったので落下して足を骨折する。